

□講義科目（専門科目）

科目名	スポーツマネジメント特論	2単位
担当者	住田健	
テーマ	スポーツ組織が抱える課題を解決するための思考とその実践手法を学修する	
科目のねらい	<p><キーワード> ① マネジメント ② 市場環境 ③ スポーツ組織 ④ スポーツファイナンス ⑤ スポーツ法</p> <p><内容の要約> 簡潔に言えば、スポーツマネジメントとは、スポーツ組織が持つヒト・モノ・カネ・情報の経営資源を効率的に活用し、スポーツの付加価値を生み出す作業のプロセスである。そのため、スポーツマネジメントが対処とする組織の範囲は、地域の市民クラブから世界を代表するプロスポーツクラブにまで渡る。本特論では、現代のスポーツ組織が抱える課題を、市場環境と組織のマネジメントの観点から学修する。また、スポーツマネジメントを深く理解するために、スポーツマネジメントに必要な財務知識と法知識についても取り上げる。</p> <p><学習目標> 1. 現代のスポーツマネジメントの現状と課題について理解し、説明することができる。 2. スポーツマネジメントにおける重要な理論・概念について理解し、説明することができる。 3. 実践現場の課題を解決するための手法を生み出すために、スポーツマネジメントの学術的知見を還元することができる。</p>	
授業の進め方	第1回 オリエンテーション 第2回 スポーツマネジメント概要：スポーツマネジメントの現状と課題の理解 第3回 スポーツマネジメントの市場環境①：スポーツ組織の競争戦略 第4回 スポーツマネジメントの市場環境②：スポーツ組織の差別化戦略 第5回 スポーツマネジメントの市場環境③：市場における競争優位 第6回 スポーツマネジメントの市場環境④：多角化と事業ポートフォリオ 第7回 スポーツ組織のマネジメント①：スポーツ組織と人的資源 第8回 スポーツ組織のマネジメント②：スポーツ組織の構造 第9回 スポーツ組織のマネジメント③：スポーツ組織計画と管理 第10回 スポーツ組織のマネジメント④：スポーツ組織に求められるリーダーシップ 第11回 スポーツ組織のマネジメント⑤：スポーツ組織の理念と組織文化 第12回 スポーツ組織のファイナンス①：スポーツファイナンスの特性 第13回 スポーツ組織のファイナンス②：ファイナンス思考によるスポーツマネジメント 第14回 スポーツマネジメントの法知識①：スポーツ組織の設立と関連する法律 第15回 スポーツマネジメントの法知識②：スポーツビジネスと関連する法律	
事前学習の内容 学習上の 注意	事前学習：各単元の前週に文献資料を配布するので、読んでおくこと（60分） 事後学習：講義で配布する資料と文献資料を読み返し単元の理解に努めること（90分） スポーツマネジメントを深く理解するために、スポーツマネジメントに関する文献だけではなく、一般の経営学に関する文献も積極的に読むことを推奨する	
本科目の 関連科目	スポーツビジネス特論	
テキスト	特に指定しない	
参考文献	原田宗彦・小笠原悦子（2015）スポーツマネジメント（改訂版）. 大修館書店. 伊丹敬之・加護野忠男（2003）. ゼミナール経営学入門（第3版）. 日本経済新聞出版社. 琴坂将広（2018）経営戦略原論. 東洋経済新報社. 入山章栄（2019）世界標準の経営理論. ダイアモンド社. 武藤泰明（2014）スポーツの資金と財務. 大修館書店. 朝倉祐介（2018）ファイナンス思考. ダイアモンド社.	
成績評価方法 と基準	スポーツマネジメントの市場環境に関するレポート（25点） スポーツ組織のマネジメントに関するレポート（25点） スポーツ組織が抱えるマネジメント課題解決プランに関するレポート（50点） 全てのレポートを合わせて100点とし、60点以上で合格とする	